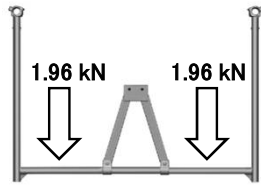
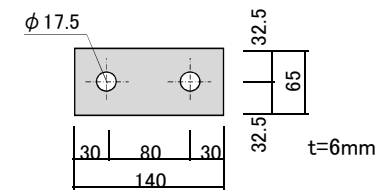


- 1) SRC造のボルト締め、配筋作業の安全通路となる製品です。
チェーンとパイプによる吊足場に代わるものです。
- 2) 鋼製布板、長尺足場板などを利用できます。
- 3) 組立てを地上で行いますので安全です。
- 4) 部材が少なく軽量ですので取扱いが容易です。

許容荷重
片側 1.96 kN
両側 3.92 kN



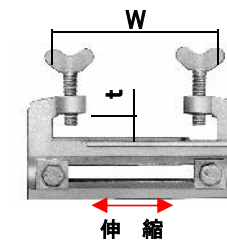
取付ピース SH-02 0.5 kg



ボルト SH-01HT M 16×45HT
強度区分 10.9

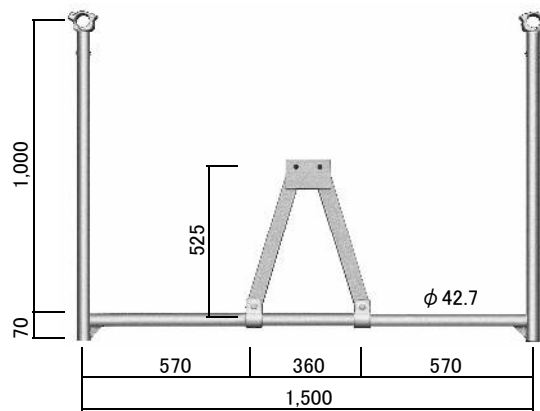
ボルト SH-03 M 12×45HT

取付金具

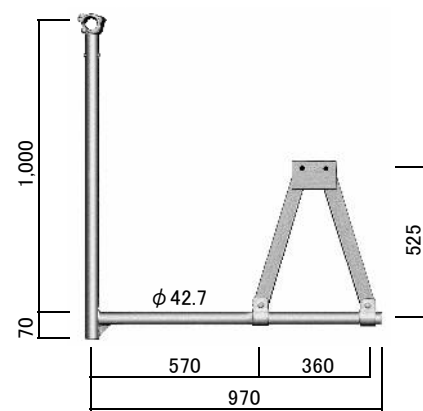


品番	使用範囲		重量 (kg)
	W (mm)	t (mm)	
SH-200	100～190	17 以下	2.0
SH-300	150～290	22 以下	2.5
SH-500	250～490	42 以下	4.0

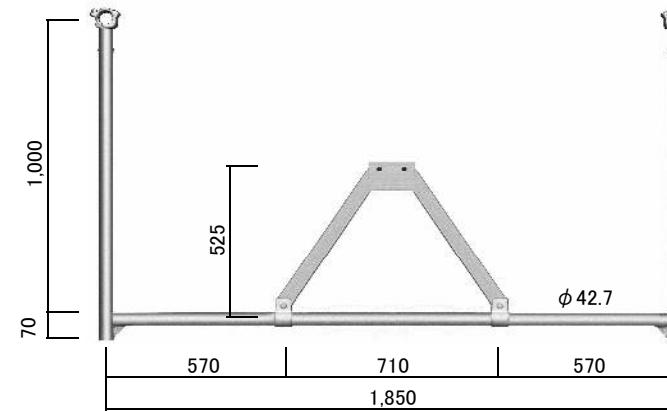
パイハンガー SH-1015L 15.5 kg



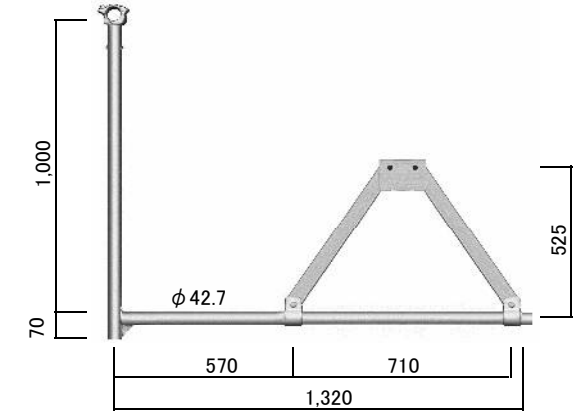
片ハンガー SH-1015LS 10.8 kg



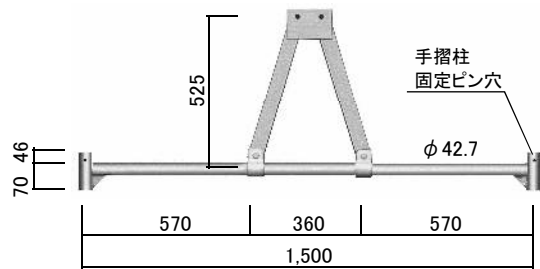
パイハンガー SH-1018L 17.0 kg



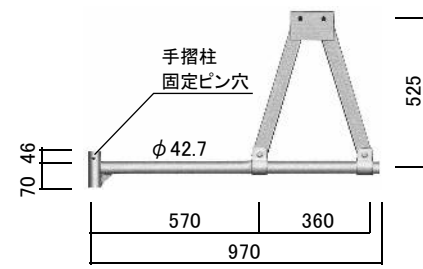
片ハンガー SH-1018LS 12.3 kg



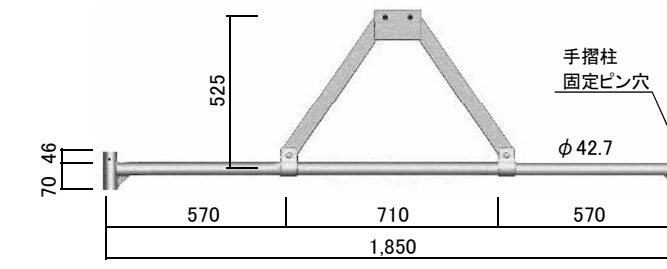
水平ハンガー SH-1015LT 9.5 kg



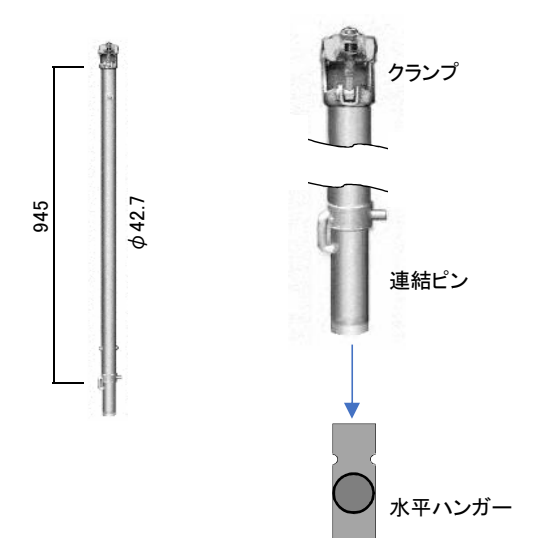
水平片ハンガー SH-1015LST 7.8 kg



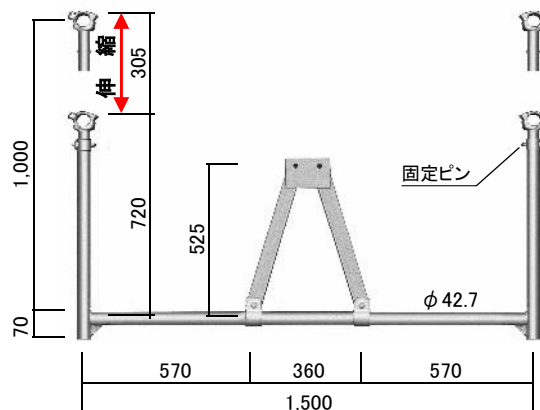
水平ハンガー SH-1018LT 11.0 kg



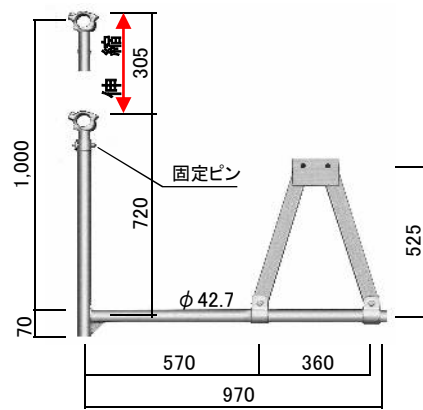
水平ハンガー用手摺柱 SH-P1 3.5 kg



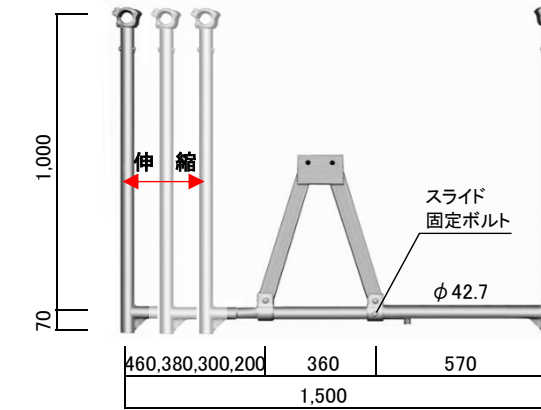
伸縮手摺ハンガー SH-1015Z 15.5 kg



伸縮手摺片ハンガー SH-1015ZS 10.8 kg



スライドパイハンガー SH-2046Z 17.2 kg



■ 使用手順

① 計画

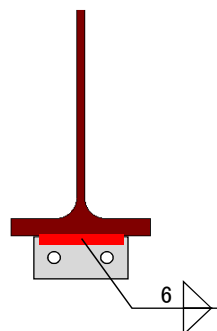
パイハンガーの割付間隔は1.8m以内とする。(但し、インチサイズ鋼製布板を使用の場合は1.829m以内)
鉄骨フランジの継手板の障害にならぬように割付ける。
柱の配筋、型枠作業の障害にならぬように割付ける。
柱回りにて隣接するパイハンガー同士が干渉しないように割付ける。
1本の梁に2ヶ所以上のパイハンガーを取付ける。
(足場を部分的に地組し、鉄骨上で使用する足場材を荷揚げするため)

② 取付ピースの溶接

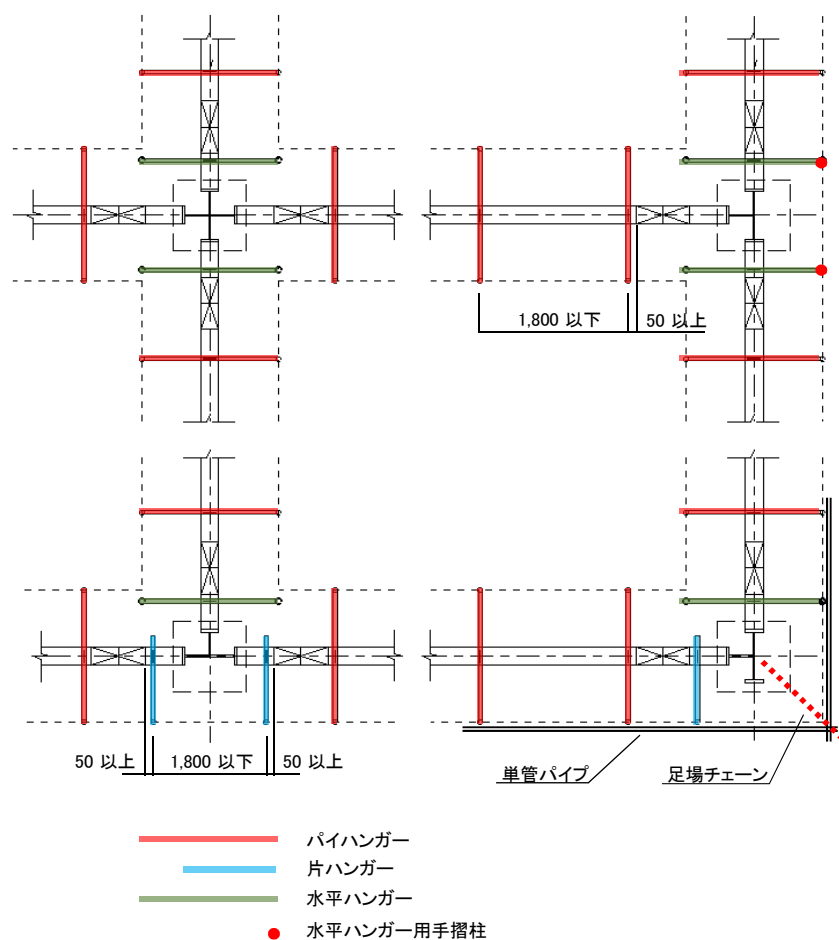
鉄骨加工工場にて割付計画に基づき取付ピースを溶接する。
取付金具：取付ピースの溶接漏れの対応に数個用意しておく。

② 取付ピースの溶接

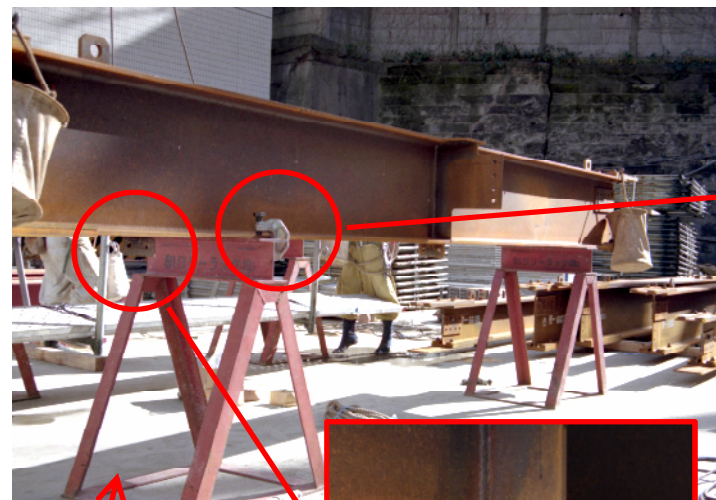
パイハンガー架台に鉄骨梁を仮置きし、ボルトでパイハンガーを取付ける。
パイハンガー架台と鉄骨梁はロックマン等で転倒防止をする。
足場板、手摺パイプ等を地組する。
鉄骨上で使用する足場材を載せ落下防止をする。



■ 割付例



1. パイハンガー架台に鉄骨梁を仮置き



パイハンガー架台



取付ピース



ロックマンで固定

2. ボルトでパイハンガーを取付ける



ボルト
取付ピース
パイハンガー

3. 足場を地組し、鉄骨上で使用する足場材を載せる



4. 吊上げる

